

# KOCHI 2013 ROTARY 2014 CLUB SINCE 1937



2013-14年度国際RIテーマ

## 週報



Weekly report 第3137回 2013年8月6日 2013年8月20日発行

### ● 会長挨拶

皆さんこんにちは。千頭さん、中村さん、お帰りなさい。えい色になって、早く我々もそうなりたいと思います。特に中村さんの顔を見てるとまっ黒で、何回ゴルフをしてきたんだろうと。我々はやっと1カ月済んだところですが、まだまだ暑さに負けず頑張っていきたいと思っています。



この時季になると「甲子園」という言葉がよく出てきますが、高知ではまんが甲子園が開かれ、今年で22回目になります。私も帯屋町筋商店街の理事長をしていますので、帯屋町筋賞のプレゼンターとして出ていました。野球の甲子園もそうですが、高校生が一生懸命、普段練習してきたことを力を合わせて描いた結果、本当に紙一重でトップになったり、2位になったり落ちたり。その発表の度に抱き合っ泣いている瞬間を見て、若い時、一つのことに集中してすること、歳を取ってもそういう感激を忘れないようにしなければいけないと感じました。帯屋町筋賞は、敗者復活戦で一番票を取ったところで、偶然、今年は高知商業高校でした。彼らも本当に感激をしてこれからも頑張ろうという

思いが伝わりました。

こういう企画は本当にいい企画で、それも22回も続いているというのはいいことだと思います。費用対効果ばかりではなく、若い力を助けていくことも大人の務めではないかと感じました。野球の甲子園もまもなく始まります。高知県代表として明德を応援しようと思います。

今週末からよさこい祭りが始まります。新聞、テレビ関係、また審査員等々関係者はじめ皆さんにも、暑い中ではありますが、60回という記念大会でもありますので応援していただきたいと思います。特に全国大会には、県外からの若者が高知へ行って踊りたいという気持ちで来るわけです。高知でよさこいを踊って良かったと思えるように、高知を宣伝していかなければいけないと思っています。

本日の卓話は、ノンフィクション作家の門田隆将さんに「歴史をとらえる視点」と題してお話を伺います。



### 高知クラブが心を1つにして支える関 裕司ガバナー

#### ■活動報告他

- ・7月27日(土) 松山近隣8RC合同夜間例会
- ・7月30日(火) ガバナー公式訪問/高松東RC・高松中央RC
- ・8月 1日(木) ガバナー公式訪問/観音寺RC
- ・8月 2日(金) ガバナー公式訪問/小豆島RC
- ・8月 5日(月) ガバナー公式訪問/東かがわRC・高松北RC
- ・8月 6日(火) ガバナー公式訪問/坂出RC
- ・8月 7日(水) ガバナー公式訪問/高松南RC



ガバナー公式訪問8月7日 高松南RC

#### ■本日のプログラム [ 8月20日 ]

地区大会準備説明

会 長	広 末 幸 彦
副 会 長	西 山 彰 一
幹 事	前 田 道 雄
副 幹 事	吉 澤 文 治 郎
会報責任者	小 笠 原 晃 男

● **ロータリーソング** 「君が代」 「我らの生業」

● **今週のピアノ曲** 「ハワイの結婚の歌」

ピアノ演奏：山内るり会員

● **お客様**

米山記念奨学生 王 静芸さん

● **幹事報告**

- ・例会終了後、理事会を行います。
- ・地区大会の登録申込書は出席に丸をして、できるだけ早く提出をお願いします。

● **ゲストスピーチ**

### 歴史をとらえる視点

ノンフィクション作家 門田 隆将氏

私は、いろんなジャンルの本を書いています。その中で、ノンフィクション作品の柱は「毅然とした日本人を描く」ということです。毅然とした日本人というのは、いろんなジャンルにいらっしやいますが、吉田昌郎福島第一原発の所長もその一人で、日本を救った人です。日本がチェルノブイリの10倍の規模の被害想定になるものを、放射能汚染された原子炉建家に突入を繰り返した男達のお陰で、終息ではないけれども、今の状態に保たれているわけです。吉田さんは、先日亡くなりましたが、生前にインタビューできたのは私だけですので、そういう吉田さんの戦いを最新刊で描いています。彼も毅然と生きた日本人だと思います。



他にもいろいろなジャンルがあります。司法問題、野球、歴史でいうと戦争ですが、ゼロ戦、沖縄戦、戦艦大和、ありとあらゆる場面を描いてきました。その中で、自分なりに歴史をとらえる視点を、ちょっとでも皆さんの参考になればと思ってお話をさせていただきたいと思います。

私は、非武装中立を唱える親父のもとで育ちました。うちの親父は日本社会党の信奉者で、江田三郎さんが大好きでした。では、今、非武装中立が成立するかと考えた場合、現実的にはとても無理だと思います。理想と現実の違いは、非武装中立で戦争が避けられるのか。いや、非武装中立は戦争を呼ぶのではないかと私は考えます。今、中国がどんどん大きくなってきて、南シナ海、東シナ海、いろんな所で軋轢を深めています。ベトナムなんかはめっちゃくちゃ怒っていますので、中越紛争がいつ起こるか分からない。そういう時代が来ているのは事実です。そうすると、非武



装であると理想論だけを唱えていて果たして戦争を避けることができるのだろうか。

皆さんの周りや身内の方でも戦争に行った人がいるはず。大正元年から15年に生まれた人は、昭和19年から20年の最も多くの若者が命を落とした1年間に19歳から33歳だった人たちです。すなわち、太平洋戦争は大正世代の戦争です。大正生まれの男達は1348万人、その中の200万人が戦死しています。最前線に行った7人のうち6人は生き残っていますが、この人たちは仲間の無念を胸にしながらも、決してもう一度戦をしようとはしませんでした。平和を愛して、銃の戦争から経済戦争へと変えていきました。そして、復興の後、主力となって20世紀の奇跡と言われた高度経済成長を成し遂げています。エコノミックアニマルと言われようが何と言われようが黙々と働いて、日本を世界第2位の経済大国に押し上げてきました。けれど、昭和が終わり平成の世になった時、この人たちは社会の第一線から退いていきました。小国民世代（少年・少女時代に戦争を体験した人たち）、団塊世代（全共闘世代）の人たちが社会の中心になり日本はガラリと変わりました。甘え、癒しといったことが言われるようになります。私は、この人たちに大正生まれの人たちが大切なものを継承し忘れたのではないかと思います。それは何か。「恥」です。私は恥の概念というものを、今の日本人は忘れかけているのではないかと思います。ルース・ベネディクトというアメリカの女性人類学者が書いた「菊と刀」という本の中には日本の文化は恥の文化であると書かれています。私も大正生まれの男達の行動は恥という言葉を知らなければ理解できないと思います。当時の日本の軍隊は世界最強でした。同じ武器を与えたら絶対に勝ちます。軍隊の強さというのは、例えば突撃命令が出た時、10人が10人全員が突撃するのが一番です。怖いからといって膝を抱えて飛び出さない人間がいる軍隊は弱いわけです。

戦後の評論家は、日本軍が強かったのは軍隊教育と日頃の軍国主義教育によるものだと言います。け



れど、皆さんもご存じだと思いますが、ヨーロッパ戦線で戦った日系442という日系二世達の部隊は、アメリカの陸軍史上最強の部隊で教科書にもなっています。この人たちは日本の軍国主義教育を受けたか。日本の軍隊教育を受けたか。いえ、受けていません。ではなぜ彼らは突撃を繰り返して戦えたのか。そこにはやはり明治生まれの移民一世が、恥の概念を子どもたちに教えているからです。恥を知ることとは、人が突撃する時に、膝を抱えて震えておられるかということなのです。

今日は広島原爆の日で、朝NHKの番組を見てみると母親が子どもたちに戦争を教えていました。私は、戦争の悲劇を後世に語り継ぐということは大変重要で、貴重なことだと思いますが、その時に視点が無いといけなのではないか、バランスの取れた視点を若い人たちに伝えるべきではないかと思っています。戦争というのは悪に決まっています。人と人が殺し合う戦争は悪であることには間違いない。では、なぜその戦争がなくなるのか。今も続いているのはなぜなのか。戦争は悪である、避けなければいけないということ、誰もが共通の認識としてあると思います。

けれど、戦争の悲惨さを訴えるだけでは難しい。慰安婦問題もしかりです。事実に基づいてきちんとものを言ったら、ものすごい批判を受けてしまいます。そこで私が言いたいのは、日本の戦後ジャーナリズムの一方的なイデオロギーに基づく論調に惑わされないで欲しいということです。あとになって、あの時こうだったというイデオロギーをもとに物事を論じていくのが、日本の戦後ジャーナリズムの特徴です。

大正生まれの人たちは戦後の高度経済成長を成し遂げて、今90前後になってどんどん亡くなっています。私は日本の歴史の中で、この人たちの証言を残すことは非常に重要なことだと思って、「太平洋戦争最後の証言」というシリーズを昨年完結させました。第1部はゼロ戦・特攻編、第2部は陸軍玉砕、第3部は大和沈没編です。百数十人に及ぶ玉砕の戦場から奇跡的に帰ってきた人々に、全国各地で会いお話を聞きました。正しい視点で、事実を見て、そして違うことは違う、反省するところは反省する。私は多くの日本人がきちんと問題を把握して、大正世代の人たちのことも見ていかなければいけないと思います。

## ニコニコ箱

日本航空・  
五十嵐 武

先日、東京出張の際、ニュージャージーに交換留学生として出発されるメンバーと同じ便になりました。皆さんお元気で出発され、嬉しく思いました。また、各ロータリークラブの方々にもお声掛けいただき感謝！そして、高知と羽田間をJALで移動していただけましたことに大感謝です！

藤田 洋子 }  
杉本美美子 }

先週、ガバナーの随員として小豆島RCを訪問しました。ガバナーの高級車で、おまけにガバナーに運転していただいておいしいランチをいただいて等々……。何という随員でしょう。でもガバナーの激務を知れば知る程、尊敬と感謝の念を深めた貴重な1日ではありました。

千頭 邦夫

先々週末から9日程、ハワイ島のマウナラニリゾートに行ってきました。中村前幹事ご夫妻共々1年間の疲れをすっかり落としてリフレッシュできました。4200mのマウナケア山頂にも登って素晴らしい夕日と星空を楽しんできましたが、さすがに空気が薄く、ちょっと高山病のような状態でした。来年は広末会長と前田幹事を必ずお誘いしますが、あと1年ありますねえ……。

中村 裕司

先週の例会欠席は内緒のつもりだったのですが、のっけの会長挨拶で取り上げられ、ニコニコせざるを得なくなってしまいました。

亥角 政春

本日はゲストスピーカーの門田隆将先生の書籍を例会の後に販売させていただきます。門田先生、プログラム委員の古谷純代様、ありがとうございます。

松崎郷一郎

妻の誕生日にきれいな花をありがとうございます。

中澤 清一

お誕生日を祝っていただきありがとうございます。

佐竹 新市

誕生日のお祝いをありがとうございます。51歳！まだまだ頑張ります。

秋山 貴之

妻のお誕生日にお花を贈っていただきありがとうございます。また、帯屋町筋の公衆無線LAN、Wi-Fiの整備がよさこい祭りに間に合いました。広末会長、どうもありがとうございます。

村田 功

誕生日をお祝いいただきありがとうございます。本日、高知に来て3回目の誕生日を迎えることができました。嬉しいです。

南 範子

夫の誕生日を祝っていただきありがとうございます。夫婦ゲンカをするよりいたわり合う年齢になりましたが、運命共同体、大切にしていきたいと思っています。



◇ 例 会 変 更 ◇

高知北RC	8月26日	創立記念夜間例会(三)	高知ロイヤルRC	8月27日	夜間例会(旭)
高知RC	9月3日	グループ夜間例会(三)	高知中央RC	9月12日	夜間例会(城)
高知ロイヤルRC	9月17日	ロータリー休日(旭)	高知南RC	9月19日	月見夜間例会(阪)
高知西RC	9月27日	夜間例会(三)	高知北RC	9月30日	職場例会(三)

※サインメーキャップのできるホテル (三)… 三翠園 (城)… 城西館 (阪)… ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)… ホテル日航高知旭ロイヤル

◇7月27日 松山近隣8RC合同夜間例会



◇7月30日 ガバナー公式訪問/高松東RC



◇7月30日 ガバナー公式訪問/高松中央RC



◇8月7日 ガバナー公式訪問/高松南RC



◇ 出 席 率 ◇

	総数	出席	欠席	メークアップ	出席率
8月6日	(-5)86	51	25	4	68.75
7月23日	(-8)86	55	6	15	89.74

● 累計額 [8月6日現在]

ニコニコ箱	185,000円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦々基金	26,880円	ポリオ募金	42,700円
-------	----------	--------------------------------	---------	-------	---------

■ 次週のプログラム [8月27日]

ゲストスピーチ  
 長期交換派遣学生 岡林そらさん  
 帰国報告

創 立 昭和12年10月  
 例 会 日 火曜日 12:30~13:30  
 例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131  
 事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階  
 TEL(824)8660 FAX(824)2529  
 HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>